



バプテスト 北九州地方連合ニュース

発行日:2020.04.05 | Vol.43 | 発行者:山崎克明

発行所:〒803-0846
北九州市小倉北区下道津 2-15-21
Tel: (093)561-0772
Fax: (093)561-0760
シオン山教会内
北九州地方連合 総務財務委員会

五歩目 門司教会

2月23日(日)は3年ぶりに門司教会の主日礼拝に出席させていただきました。門司教会では礼拝の後に、子ども礼拝の参加者や保護者の方と共に昼食をいただくのが、いつもの光景となっています。さいわい幼稚園では、園庭の一角にピザ窯を造る工事が進められていると聞きました。保護者の方で勉強熱心な方がおられて、会社のお休みを利用して作業に当たっているそうです。「ピザ窯が完成したら」というテーマで、老若男女が思い思いの夢を語り合っている姿を見聞きしながら、イエスもきっとここにおられるだろうと思いました。

六歩目 八幡教会

2月24日(月)八幡教会をお借りして遠賀川流域教会牧師会を行いました。月1回の牧師会では、輪番で礼拝宣教を担当し、互いに学び合う時間を持っています。牧師会を終えた後に、最近新たに礼拝堂に導入した音響機器を見せていただきました。八幡教会ではひびしんホール前でイベントが行われますと、マイクの音声がかえなくなることがあり、とても困っておられました。講壇の左右に大きなスピーカーを配置したことで、礼拝堂のどこにいてもクリアな音声で聴き取れるようになったそうです。

野口宣教師ご夫妻 帰国報告会へのお誘い

地方連合小羊会では、来る7月18日(土)午後1時に下関教会にて、連盟インドネシア派遣宣教師の野口日宇満先生・佳奈先生をお迎えしての帰国報告会を計画しています。ビデオレター作りに参加した子ども達との再会の機会となります。

ご案内は地方連合女性会から後日お送りいたします。どうぞご予定ください。



これからの予定

- 4月6日(月)地方連合役員会(シオン山)18時半
- 4月29日(水)地方連合年次総会(シオン山)
10時(シオン山)15時半

宣教支援センターHP&Facebook

ニュースレターなどのバックナンバーを閲覧するにはパスワードが必要です。
HP: <http://bapkitaq.jimdo.com>
パスワード: kitag2015



『私の』自由を問う

今年の2・11 信教の自由を守る日集会は、音楽を通して「自由」を考える新しい企画となりました。歌ってくださったのは、中川五郎さん。日本のフォークの草分け的存在ですが、1970年に歌手廃業を宣言。直後に書いた文章が猥褻文書とされ、表現の自由を巡って最高裁まで闘われました。その後は雑誌編集や音楽評論、翻訳等をなさっていましたが、時代に対して黙っていられなくなり、再び全国でライブ活動を続けておられる方です。

今集会でも、アフガンの大地に埋められた地雷がヒンズークシュに降り積もる雪と共になくなる世界にきっとする、と、十数年前に中村哲さんの記事をもとに作ったという歌から始まりました。

4曲目からは谷本仰牧師のバイオリンの即興演奏が加わり、代表曲「一台のリヤカーが立ち向かう」では、横須賀の町に核を持ち込むな、米軍基地を沖縄だけに押し付けるな、などと歌い継ぎながら、大きな世界を変えるのは一人の小さな動きから、との繰り返しに会場は盛り上がりました。

続く20分超の大曲では、1968年オリンピックで銀メダルをとった白人アスリートが二人の黒人アスリートと表彰台で黒人差別反対の抗議をしたことで不遇な後年を送ったことを歌い、50年後の今はどうか？自由と平等、人権のために立ち向かうあなたのそばにはあなたのピーター・ノーマンがいる、と締め括られました。

一曲挟み、会場にいた五郎さんの音楽仲間ナカオカツオさんが壇上に上げられました。少し口ごもった後の「グローリー、グローリー、ハレルヤー」との力強い歌声は、2年半前に脳梗塞で倒れ話すらできなくなっていた彼を知る者には、涙なしには聞けないものでした。

第二部は、五郎さんと谷本牧師、奥田知志牧師によるテーマを巡る鼎談で、限られた時間の中で確認されたのは、主体が大事だということでした。「主体がはっきりしないまま、自由が大事、人権が大事、などと言っても意味がない。私の自由がどうかを話していかなければならない」と。奥田牧師の「五郎さんの歌にはその主体が問われる」との指摘に、五郎さんも、「主体のはっきりしない歌の方が、ウケがいいが、自分は自由を謳歌するために、引き受けるべき責任を問う歌を歌い続けたい」と語られました。

115名の参加者が与えられ、3月1日に予定されていた天皇制の問題についての学習会など、具体的なテーマに取り組んでいく上で大切な示唆を与えられた集会となりました。【石橋誠一(東八幡)】

開催日:2020年2月11日(火) 会場:東八幡キリスト教会

PickUP! CONTENTS

- 地域協働 「吉田敬太郎牧師と中間伝道」
- 集会報告 「信徒研修会「信徒説教とは？」報告」
- 各 会 「野口日宇満・佳奈宣教師 帰国報告会のお誘い」

郵便振替 01590-7-3255 加入者名 バプテスト北九州地方連合
通信欄に「宣教支援センター支援献金」と明記してください。

第3回遠賀川流域教会交流会に参加して

2月9日(日)の午後、直方教会にて「第3回遠賀川流域教会交流会」が開催されました。直方教会の礼拝堂を遠賀川流域の8教会43名の参加者が埋め尽くしました。

開会礼拝では飯塚教会の高屋澄夫牧師より「歴史」というタイトルでメッセージをして頂きました。教会の歴史は単に何処で何があったという史実でなく、信仰の先達との対話であり、一人ひとりの熱いドラマであると語られました。

発題では若松教会の永町友恵牧師より、「吉田敬太郎牧師と中間伝道」と題して、昨年9月に若松教会の有志で中間教会を訪問し安部寅彦牧師ご夫妻から聞き取った内容を発表して頂きました。1949年頃に聖書の説き明かしを求める一人の方が吉田牧師を訪ねてきたところから、中間伝道の歴史は始まりました。中間から若松まで通う熱い思い。それがイエス・キリストを受け入れご自分がクリスチャンになるだけでなく、中間の地に福音を伝えたいとの強い希望を生み、吉田牧師の家庭集會が始まったのだそうです。

今のように自動車が普及していない当時に、中間と若松を行き来することがどれだけ大変だったことか。戦中戦後の石炭景気で賑わった炭鉱地帯も時代と共に寂れ、新生運動により何度か開かれた大きな集會で合計2,000名以上の方が集まったものの、真理を求めるムーブメントは長くは続かなかったようです。

いろいろな意味で厳しい環境にあり御苦労されてきたであろうにもかかわらず、三代目の牧師である安部寅彦先生が半世紀以上にわたり中間の地で牧会を続けることができたのは、神さまの御業以外の何物でもないと思います。尊いお働きに感謝する時となりました。

発題後に各参加教会の紹介があり、現在の交流会の前身ともいえる「筑豊伝道協議会」の話題が出ました。バプテストが主張する各個教会主義の自主と独立は、近隣教会との協力があってこそ、車の両輪として機能します。子ども向けの諸集會の際には地域の教会どうして協力をしてきたことを知り、歴史の積み重ねを感じました。今後もお互いを支え合い、筑豊地域に主の福音を伝えていきましょう。【吉田光慶(若松)】

開催日：2020年2月9日(日) 会場：直方バプテストキリスト教会



信徒研修会『信徒説教とは?』報告

「成熟した教会になる」という連続テーマで今回9回目となった信徒研修会では、昨年に引き続き「信徒説教」について学びました。

初めに講師の松見俊先生より講義をいただきました。イエスさまが、さまざまな背景(賜物)を持った弟子たちを集めて、彼らを福音宣教に遣わされた聖書の箇所から、最初の弟子たちとイエスさまの間には、既に福音宣教に関わる“協働”が見られたこと、またバプテスト教会が歴史的に信徒説教を含む、信徒の宣教活動への参加を積極的に捉えてきたことをお話しいただきました。

「キリストによって導かれている者に対して聖書は彼らが宣教する弟子となることを要求している。これは特別な教会と役員、あるいは特別な人に要求されているのではなく、キリストの弟子たる者すべてに与えられているものにほかならない」(斎藤剛毅・高野進訳『バプテストの信仰告白』「第一ロンドン信仰告白」第41条 119頁)

また、信徒説教に現在取り組んでいる富野教会、直方教会、北九州教会で実際に信徒説教を担っておられる信徒の方3名から、それぞれの取り組みの状況について発題を頂きました。それぞれの教会でどのように信徒説教が理解されているか、信徒説教者がどのように選ばれているか、色々な苦労や葛藤なども含めて、詳しいお話をお聞きすることができました。

専任牧師が不在なので必然的に信徒が説教を担わなくてはならない状況にある教会、専任牧師がいても教会の働きとして信徒説教が定期的に行われている教会、説教の務めは専任牧師に限定している教会など、連合内でも信徒説教に対する異なった考えが存在する中、あらためて信徒説教が行われることの意義と、信徒が積極的に説教以外の牧会全般をも牧師と共に担っていく可能性についても考える良い機会となりました。

一つの働きの担い手を、特定の役職者や人に限定するのではなく、お互いの賜物が豊かに活かされ合うこと、補い合うことが、バプテスト教会にとっての“成熟”ではないか、と思われました。(講師含む当日参加者：37名)【酒井朋宏(別府国際)】

開催日：2020年1月25日(土) 会場：若松バプテスト教会

